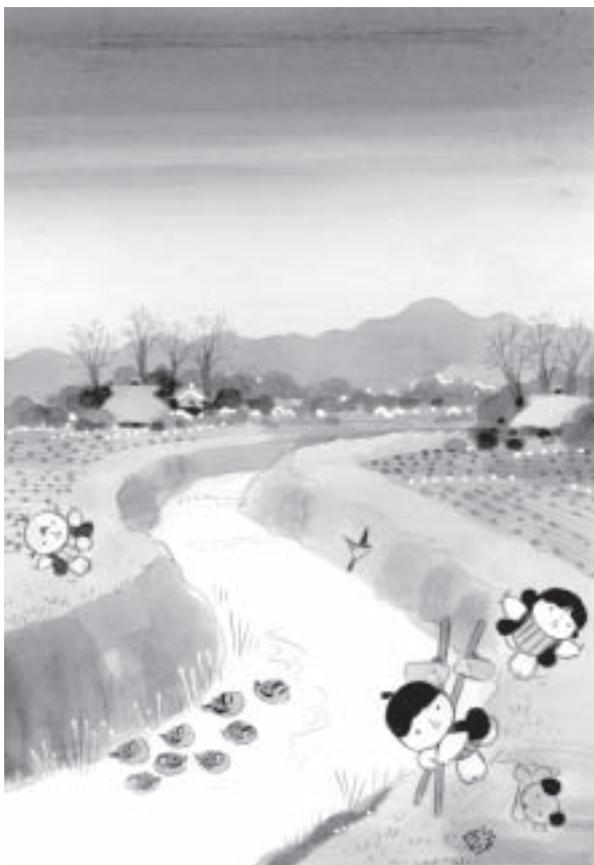


池原 昭治

さやまの今本

第129話



小さな春みつけた
 「としとらず」の伝説で知られる不老川の岸辺を歩きました。二月三日、豆まき(節分)の夜、土橋の下で一晩過ごす年齢をとらずにすむ」といった言い伝えのあるこの川は、全国に知られています。節分も過ぎますと足元には、春のさきがけといえるオオイヌノフグリが優しいコバルト色の花びらを見せてくれます。
 早春の日差しを浴びた水

辺には数羽のカルガモが首を羽根につすめ、のんびりと昼寝のひとときでしょうか。七曲の井「入管用水」山王橋「化け地蔵」権現橋」と、昔話や史跡を巡ってウオーキングするのも健康的でよいものです。親水公園のベンチで川面を眺めていますと、セグロセキレイが気ぜわしく飛び立ちました。
 小さな春をみつけました。



市の木 / 茶の木

狭山茶は鎌倉・室町時代から銘園5場の一つとして名声をうたわれ、市民が愛着を持ちつづけているところから、市の木として決まりました。

狭山が養育の地

童句

童句は自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

青空の 引つ張る風を ぎゅつと引く 安達 とよ子
 温泉を タマゴも浴びて 寒の入り 堀込 武興
 雪が解け 土に漢字で 名前書く 高田 貞子
 葱坊主 なでて下校の ドレミファソ 堀田 安代
 猫やなぎ 水の流れに くすぐられ 堀込 幸子
 今年なお 祖母の背まるし ちゃんちゃんこ

創始者 土家由岐雄

何かな? 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか? 正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。



締切り2月28日(火・当日消印有効)

1月10日号の答え
 13ページ・学校自慢の「テーブルに置かれた金づち」の写真でした。



表紙の写真

1月27日、第三児童館で22組の親子が参加して、豆まきごっこが行われました。牛乳パックにかわいい鬼の絵を描いて升作り。お手製の升を片手に、丸めた新聞紙を豆に見立てて「鬼は外! 福は内!」と大きな声で投げました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます